

## 令和3年版 県民活動白書（案）について

山口県県民活動促進条例第14条（年次報告）の規定により、本県の県民活動の促進の状況及び県民活動に関する施策について、毎年、県議会に報告し、公表するものであり、その概要等は次のとおり。

### I 今年度のポイント

- ・ 県民活動の現状等を継続的に把握するために、毎年度アンケート調査等を実施し、その結果を掲載するとともに、県、市町、関係団体の取組もとりまとめて掲載
- ・ プロボノ活動に係る新規事業の実施を踏まえ、活動の認知度やプロボノワーカーの支援の意向などを調査し、その結果を掲載

### II 構成

#### 第1部 県民活動の現状と課題

- ・ 「県民活動への参加状況」をはじめ、「県民活動団体の活動状況」や「県民活動支援拠点（機関）の状況」、「NPO法人の認証・認定状況」について、調査データを分析して掲載

#### 第2部 令和2年度における県民活動関連施策（実績）

- ・ 県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの令和2年度県民活動関連施策の実績について、事業の概要をわかりやすく一覧にまとめ、主な事業については抜粋して掲載

#### 第3部 令和3年度における県民活動関連施策（計画）

- ・ 県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの令和3年度県民活動関連施策の計画について、第2部と同様に掲載

#### 第4部 市町における取組

- ・ 市町における取組の概要や条例・計画の状況及び県民活動支援拠点の取組について掲載

（参考）県民活動に関するあゆみ掲載

### Ⅲ 各部の概要

#### 第1部 県民活動の現状と課題

【NPO法人数】 対前年度比8法人増の425法人

【県民活動団体数】 対前年度比12団体増の2,443団体で着実に増加

#### 《県民活動団体数の推移》

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
NPO法人数	431	434	430	417	425
県民活動団体数	2,252	2,314	2,374	2,431	2,443

①【活動団体が抱える問題】 「会員の高齢化」が最も多く、次いで「新規会員の獲得が困難」「会員や運営スタッフの不足」など人材に関するものが上位を占める。

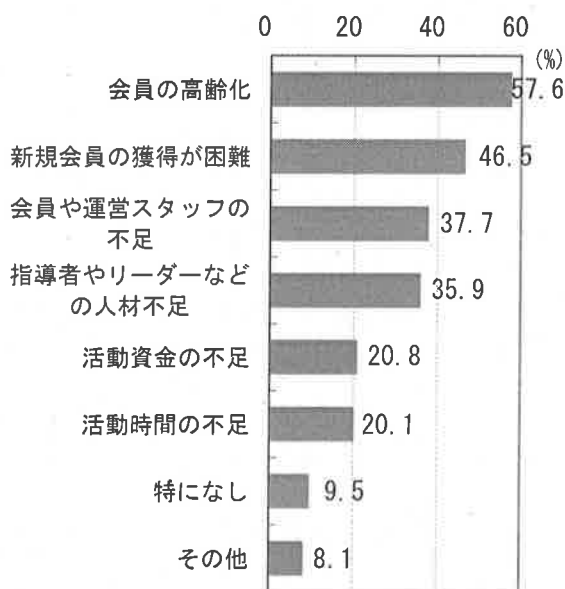
②【プロボノ活動の認知度】 「知らない」が約6割を占める。

⇒ プロボノワーカーの支援により団体が抱える問題の解決や活動の質の向上に繋がることなどプロボノ活動及びそのメリットについて、県内全域への普及啓発が求められる。

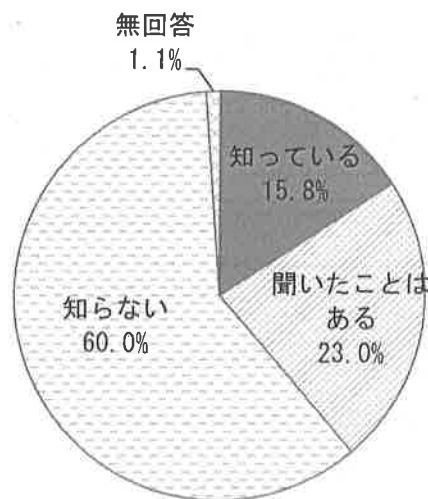
③【プロボノワーカーの支援】 「積極的に支援を受けたい」「機会があれば支援を受けたい」が5割を超えており、支援の必要性や魅力を感じている団体は多い。

⇒ プロボノワーカーの掘り起こしや支援できる体制づくりが求められる。

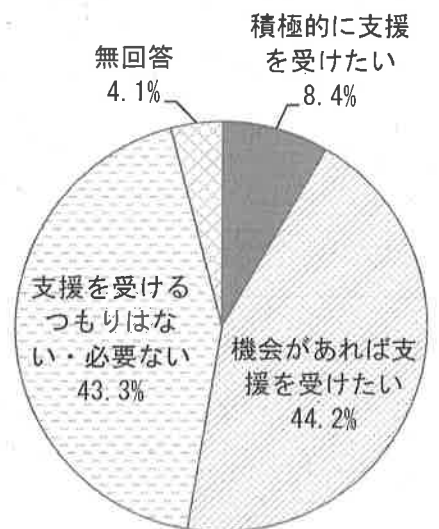
#### ①【活動団体が抱える問題】



#### ②【プロボノ活動の認知度】



#### ③【プロボノワーカーの支援】



## 第2部 令和2年度における県民活動関連施策（実績）

### 基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

●花博のボランティア等への情報発信や活動の場の提供など裾野の拡大に向けた取組を展開	ゆめ花マルシェ 167名参加 出前講座 183名参加
●若年層を対象としたボランティアイベントの開催	ボランティア体験説明会等の開催

### 基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

●モデル事業を活用し、様々なソーシャルビジネスの県下全域への普及を促進	新創業事例集作成や専用HP開設
●団体の財政基盤強化に向けた資金調達手法等のセミナーを開催	4回、延べ105名参加
●新県外からプロボノ活動実践者を呼び込むことで、県民活動の活性化を図り、継続的に地域に関わる関係人口の拡大を促進	プロボノ活動実施（5チーム） 報告会 56名参加
●新しい生活様式に対応した社会貢献活動等に取り組む県民活動団体を支援	県民活動支援センターICT環境整備 団体への助成 54件

### 基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

●協働の推進ネットワーク会議の実施により、多様な主体との協働の仕組みづくりを構築	R2.11.19開催、参加者数50名
●食品関連事業者の食品ロスをフードバンクで活用する取組の推進及び活動の拡大・定着を図る普及啓発や連携を強化	協力事業者の開拓 活動の拡大・定着に向けた普及啓発

## 第3部 令和3年度における県民活動関連施策（計画）

### 基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

●県民ゆめはなアクション推進事業	花博のボランティア等への情報発信や活動の場の提供
●県民活動推進事業	大学生向けボランティア団体活動説明会等の開催

### 基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

●県民活動推進事業	資金調達手法等のセミナー開催
●域外パワー活用地域貢献推進事業	プロボノ活動による団体支援や活動実践者による普及啓発 成果発表・交流会の開催

### 基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

●県民活動推進事業	協働事例の調査・分析や協働関係強化セミナーの開催
●新ぶちエコやまぐち3R推進事業	食品ロスやプラスチック廃棄物について、3Rの取組を推進

## 第4部 市町における取組

- 活動の概況、取組方針及び関連事業
- 条例・計画、支援措置等の状況
- 市町民活動支援センター等の県民活動支援拠点（機関）の取組

1 県予算事業

① 県民活動推進事業 (予算額：5,774千円)

若年層の参加促進等により県民活動の裾野拡大を図るとともに、県民活動団体の運営基盤の強化や、団体、企業等の多様な主体が協働する環境づくりに取り組みます。

[事業概要]

項 目	内 容
県民活動の裾野の拡大	ア 若年層を対象とした県民活動への参加促進 ・大学生等を対象としたボランティア体験説明会等の開催 拡 県民活動アンバサダーに参加する学生等、ボランティア活動に興味のある学生を主体とした情報共有会の開催 新 「コロナの時代」に対応した新たな情報発信力向上セミナーの開催 <b>別添1</b>
県民活動団体の自立的活動に向けた財政・運営基盤強化	イ 団体の財政基盤強化に向けた資金調達手法等のセミナーの開催 <b>別添1</b> ウ ソーシャルビジネスの普及・定着促進 <b>別添2</b> (事例紹介、交流会の開催、専門家派遣の実施)
協働の推進	工 新 県民活動団体と企業等との協働事例の調査・分析等 <b>別添3</b> オ 拡 県民活動団体と企業等との協働関係強化セミナーの開催

② 域外パワー活用地域貢献推進事業 (予算額：4,000千円)

社会貢献を考えている県外在住者に、プロボノ活動の機会を提供することで、地域課題解決に取り組む県民活動団体の活動基盤強化を図るとともに、関係人口拡大につなげます。

項 目	内 容
拡 域外パワー活用地域貢献推進事業	ア プロボノ活動による支援 <b>別添4</b> ・県外プロボノワーカーによるチームの編成 ・チームにより地域課題解決に取り組む県民活動団体の活動支援 イ プロボノ活動の成果等を共有するフォーラムの開催 ウ 新 「やまぐちプロボノ活動スポークスパーソン(活動実践者)」による普及啓発

③ 県民ゆめはなアクション推進事業 (予算額：7,500千円)

山口ゆめ花博を契機に活発化している県民活動を継続的な活動につなげるとともに、ボランティアの「輪」の拡大へ向けた全県的な取組を展開します。

項 目	内 容
県民ゆめはなアクション推進事業	ア 県民活動アンバサダー(ゆめはなアクション参加者)の活動支援の仕組みづくり ・ボランティア情報等の集約・発信、情報・意見交換会の実施 ・コーディネーターの配置によるマッチング支援等の実施 ・資質向上に向けた得意分野を活かした「専門チーム」の編成 イ 県民活動アンバサダーと一体となった啓発活動の推進 <b>別添5</b> ・重点地域や県内大学・高校への出前講座の実施

④ 県民活動支援センター管理運営事業 (予算額：22,458円)

全県域を対象とする中核的な支援拠点として、県民活動に関する情報発信、相談、研修の支援を行うとともに、施設を有効活用し情報交換の場として提供しています。

項目	内容
県民活動支援センター管理運営事業	<p>ア 県民活動に関する相談、情報収集・提供、研修等</p> <p>イ 県民活動団体と多様な主体との協働推進に向けたコーディネート</p> <p>ウ あいかさねっこの運営</p> <p>《指定管理者》NPO法人やまぐち県民ネット21</p> <p>《指定期間》令和3年度から令和7年度(5年間)</p>

2 やまぐち県民活動促進実行委員会事業 ※財源は、構成団体それぞれが負担

県、やまぐち県民活動支援センター及び(公財)山口きらめき財団とで実行委員会を組織し、三者が連携しながら事業を実施

① 県民活動促進キャンペーンの実施

県民活動促進期間(10~11月)を中心に、県民活動の拡がり発展を目的とするキャンペーンを実施(啓発グッズ等の作成・配布)

② 県民活動フェスタの実施

市民活動支援センター等主催行事と連携し、県民参加への参加促進及び県民活動の活発化に向けたフェスタを開催 [実施場所] 県内4箇所程度

③ チャレンジやまぐち!地域貢献賞の授与

特に優れた活動を行う県民活動団体、事業者を顕彰し、その活動を広く紹介

[開催時期] 10月(予定)

[表彰団体] 5団体程度

《参考》 令和2年度チャレンジやまぐち!地域貢献賞受賞団体

団体名	所在地	活動(表彰)内容
特定非営利活動法人 コバルトブルー下関ライフセービングクラブ	下関市	「渚の交番」や空き家活用等を通じた海辺の安全な環境づくりと地域おこし
生活協同組合コープやまぐち	山口市	災害時の物資確保、高齢者等の見守り活動、子育て支援等の地域貢献活動
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	宇部市	相談窓口・居場所設置、自殺防止対策等、精神障害者・ひきこもり者の支援
村田株式会社	防府市	地域イベントへの参加や地域活性化への支援などの地域貢献活動
山口災害復興支援団体 山口災害救援	岩国市	被災地への継続的な支援や交流、災害ボランティア養成や防災啓発活動等

## 意見交換事項

## 【テーマ1】 若い世代の県民活動団体への参加に向けた取組について

- 令和元年に実施した県政世論調査結果によると、「県民活動へ参加したことがある」と回答した県民の割合は、全体で58.8%となっている。
- 年代別にみると、40代以上の中高年齢は5割を上回るのに対し、20代、30代の若い世代は5割を下回っている。
- 令和3年度版県民活動白書（案）によると、県民活動団体が抱える問題として、「会員の高齢化」や「新規会員の獲得が困難」など人材に関するものが上位を占めている。
- 今後、県民活動団体の担い手として期待される若い世代の参加促進について、どのような取組が有効的でしょうか。

## [今年度の関連する取組]

- 域外パワー活用地域貢献推進事業
  - ・プロボノ活動の実施
- 県民活動促進期間（10・11月）における普及活動
  - ・県民活動フェスタの開催
- 若者へのアプローチ
  - ・出前講座の実施
  - ・学生を主体とした情報共有会の実施
- あいかさねっと（やまぐち社会貢献活動支援ネット）の運用

令和3年4月1日から新たな指定管理期間がスタート（5年間）

- ◆運営者 : 特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21  
(理事長は、7月末時点で辻正二から横田尚俊に交代)
- ◆場所 : 従来と変更なし(山口市神田町1-80 パルトピア山口2階)
- ◆業務時間 : 従来と変更なし(月曜日や祝祭日、年末年始が休日)
- ◆支援業務 : 以下、新規取り組みなどをいくつかのトピックを紹介

①「Zoom ルーム」の運営

別添6参照

○先般から需要が高まっているオンライン型の会議や相談に対応すべく設置 (R2)

②NPOの「組織力」向上を図るセミナー等の開催

- 従来は、NPOの組織基盤を高めるための事務系セミナーを毎年開催  
(事務系セミナー例: 会計税務、労務、事業報告、ファンドレイジングなど)
- この先、まちの担い手としてより期待されるNPOの「組織力」の向上を図る  
(取組み例: 機能的なNPOの理事および監事とは、NPOのガバナンス など)

③災害NPOネットワークづくり

- 近年、特に災害支援のために「行政・社協・NPO」連携の必要性がよく語られる
- 県センターとしては、その立ち位置から、まずは県社協や行政との連携を図り、広く災害支援に携わるNPOのネットワークの構築を促す。
- また、その発展形としては、各市センターや地域貢献性の高い事業者といったプレイヤーを交えた災害支援のネットワーク構築を模索する。

④成果ラボ

- 近年、NPOや市民活動団体の社会的な存在感が高まることの裏腹で、下記のような疑問が挙げられるようになった。
  - ・NPOの取組は、実際に社会を改善・変革させることができているのか?
  - ・その活動が社会課題の解決や価値の創造に実際どこまで役立っているのか?
- そうした中、特に助成金など外部から財源を受け取った場合、その助成効果を外部に提示できるよう、活動の「成果(アウトカム)」の提示が求められることも増えてきた。
- しかし、多くのNPOにとっては自らの活動を「評価」して「成果」を表現することにまだ慣れていない状況もあるように見受けられる。
- そこで、県内外の関係機関や団体などから公開されている「成果(指標)」の事例や関連する知見に関する情報を収集し、成果の在り方について共に考える。